



15.回復期病棟関連のQI指標

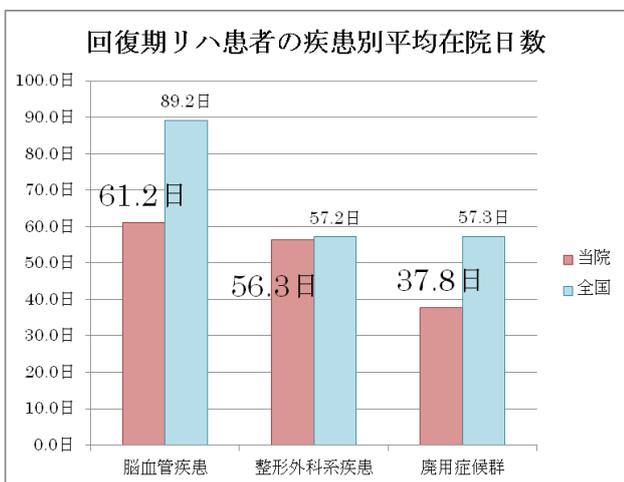
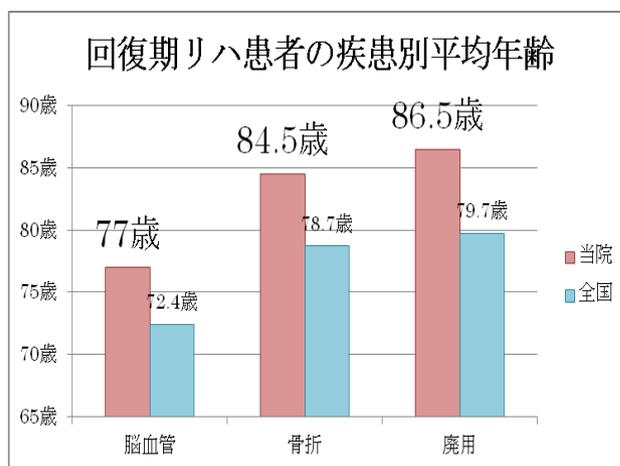
当院では2014年10月より回復期リハビリテーション病棟44床を開設致しました。

今回は回復期リハビリテーション病棟の現状を評価するため、2014年10月～2015年6月のデータをもとに統計を行っております。

<疾患別平均年齢>

当院の回復期リハ病棟の患者の平均年齢は一般病床同様、全国と比較して高いことがわかります。

この高年齢が、後記のFIM利得等で好結果が得られにくい一つの要因になっているものと考えられます。



<入院期間>

当院の平均在院日数はどの疾患においても全国平均よりも早期に退院しております。

特に、脳血管疾患と廃用症候群においては大きな差がありました。

<回復期病棟退院患者の在宅復帰率>

当院の在宅復帰患者は全国平均よりもやや高い75.4%でした。今後更なる在宅復帰率の向上を目指してゆきます。

